



ケアプランデータ連携 システムの導入について



松戸市 福祉長寿部 介護保険課

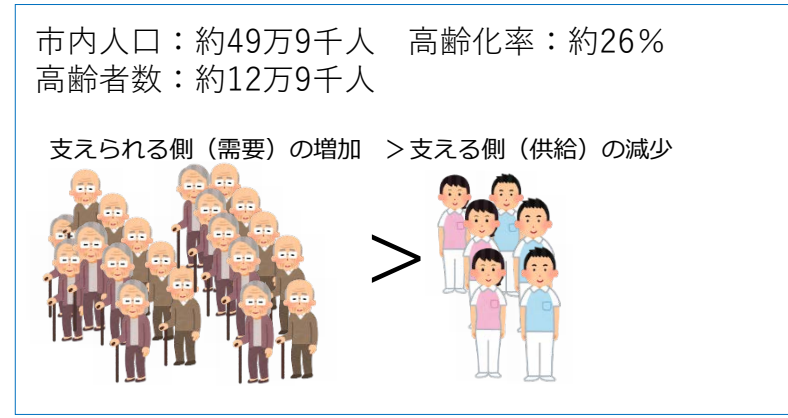
2025/3/18 令和6年度第3回千葉県介護現場革新会議

本日の流れ

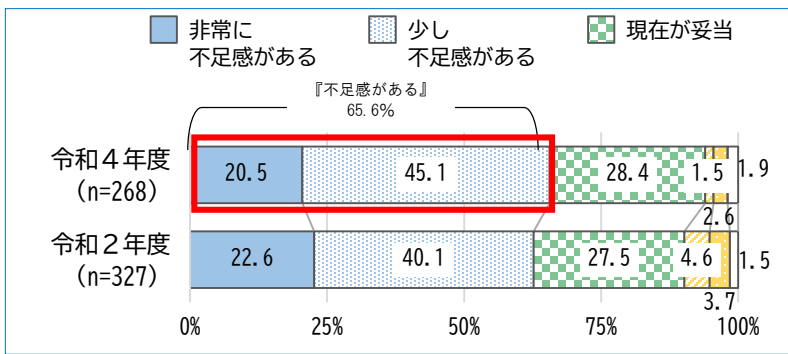
- 1.松戸市の現状と課題
- 2.ケアプランデータ連携システムにより得られる効果
- 3.導入促進のために市が実施した取組み
- 4.アンケート結果
- 5.事業者向け説明会の実施
- 6.ケアプランデータ連携システムライセンス料補助金の実施
- 7.普及に向けた取組み
- 8.市内事業所より寄せられたお声
- 9.市内のシステム普及状況
- 10.まとめ

1.松戸市の現状と課題

1) 増加し続ける要介護・要支援者
要介護・要支援者は、今後増加を見込んでいる。
それに伴い、介護ニーズも増加の一途をたどっている。

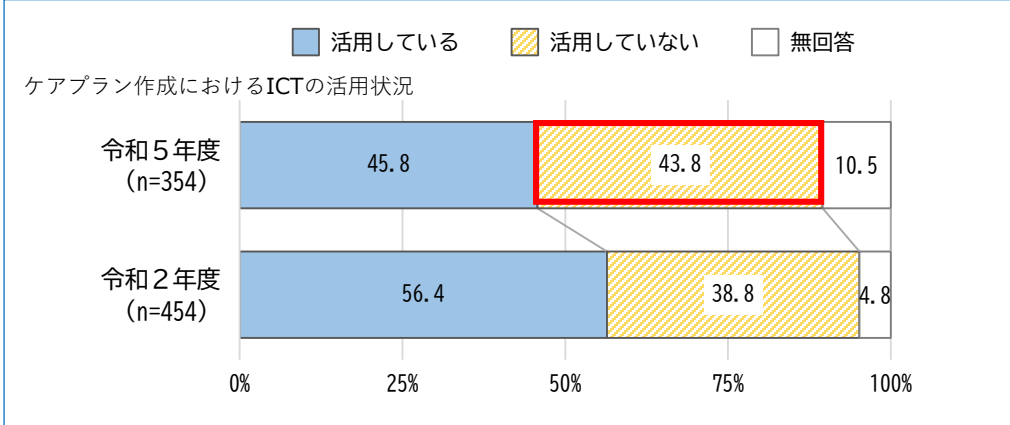


2) 人手不足感
アンケートによると、介護職員の配置について「不足感がある」と感じている事業者が全体の約66%であり喫緊の課題である。

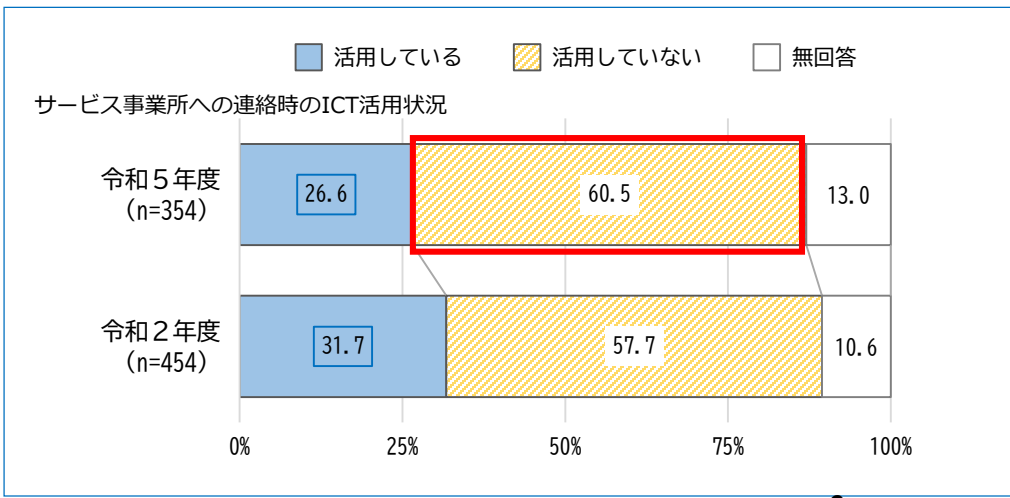


※ いきいき安心プランⅧまつど アンケート結果より

3) 業務負担
アンケートによると、ケアプランやサービス利用票等の事業者間でのやりとりは、FAXや紙媒体がメインで、職員の業務負担が否めない。



※ いきいき安心プランⅧまつど アンケート結果より



※ いきいき安心プランⅧまつど アンケート結果より

2.ケアプランデータ連携システムにより得られる効果

■業務の効率化

【期待できる削減効果例】

- ・記載時間の**削減**
- ・転記誤りの**削減**
- ・データ管理による文書量**削減**
- ・介護従業者の負担**軽減**

【効率化による相乗効果例】

- ・利用者支援にかける**時間増**
- ・ケアの質の**向上**

■費用効果

【期待できる効果例】

事業所がケアプランを送付するために掛かる費用の削減が見込まれます。

- ・人件費の削減
- ・印刷費の削減
- ・郵送費の削減
- ・交通費の削減
- ・通信費(FAX)の削減

(人件費削減を考慮した場合)

約81万6千円/年の削減

※1ヶ月あたり約6万8千円 × 12ヵ月

(人件費削減を考慮しない場合)

約7万2千円/年の削減

※1ヶ月あたり約6千円 × 12ヵ月

※調査研究のアンケート結果から試算した
全国平均の見込み金額あり、削減費を確約
するものではありません。

【コスト削減による相乗効果】

- ・介護人材の**新規確保**
- ・介護人材の**定着率向上**
- ・事業所環境の**維持費、改善費の割当額の増加**

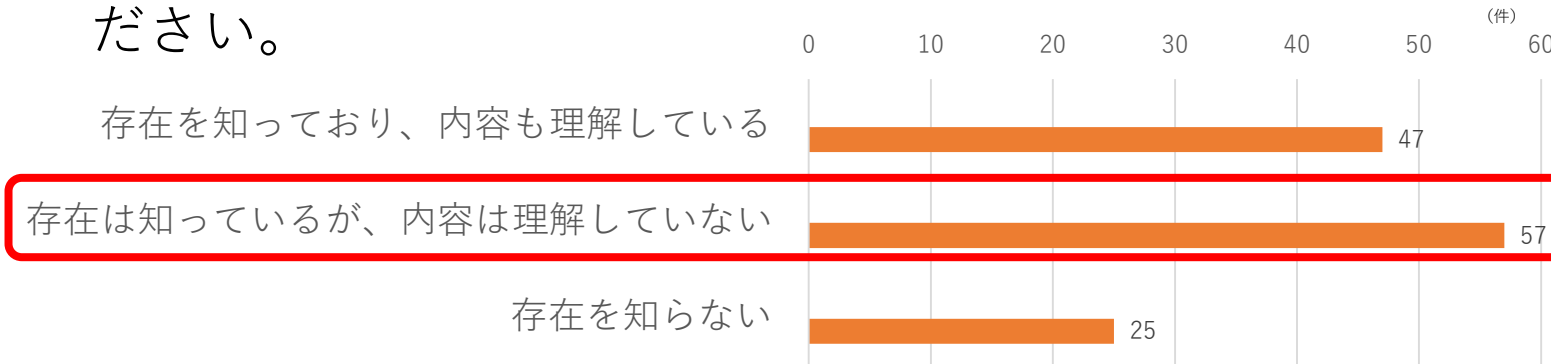
3.導入促進のために市が実施した取組み

- 4月23日に開設した千葉県介護業務効率アップセンターの周知（4月）
- アンケートの実施（5月～6月）次ページ以降参照
- 先行事例の視察（6月）
- 事業者向け説明会の実施（10月）
- ライセンス費用補助金（年間21,000円全額補助）受付開始（10月）
- 活用事例の周知、事業所団体への呼びかけ

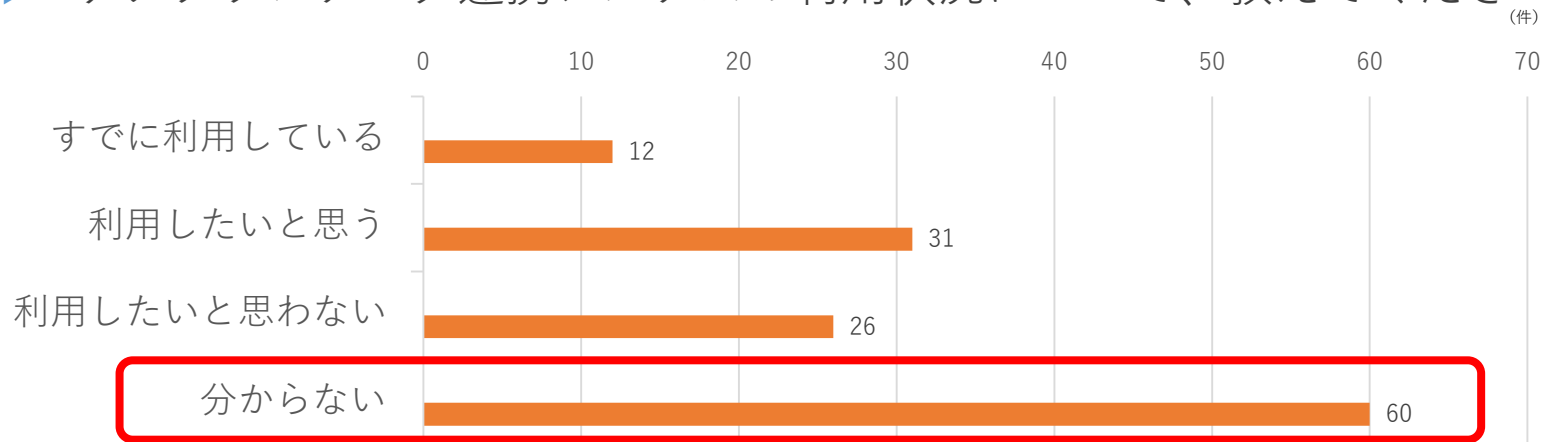
セットで実施することで、導入拡大を図る

4.アンケート結果①

- ケアプランデータ連携システムへの認識について、教えてください。



- ▶ ケアプランデータ連携システムの利用状況について、教えてください。



5.アンケート結果②

- （前問で「利用したいと思わない」と回答した26事業者のみ）その理由について、教えてください。（複数回答可）

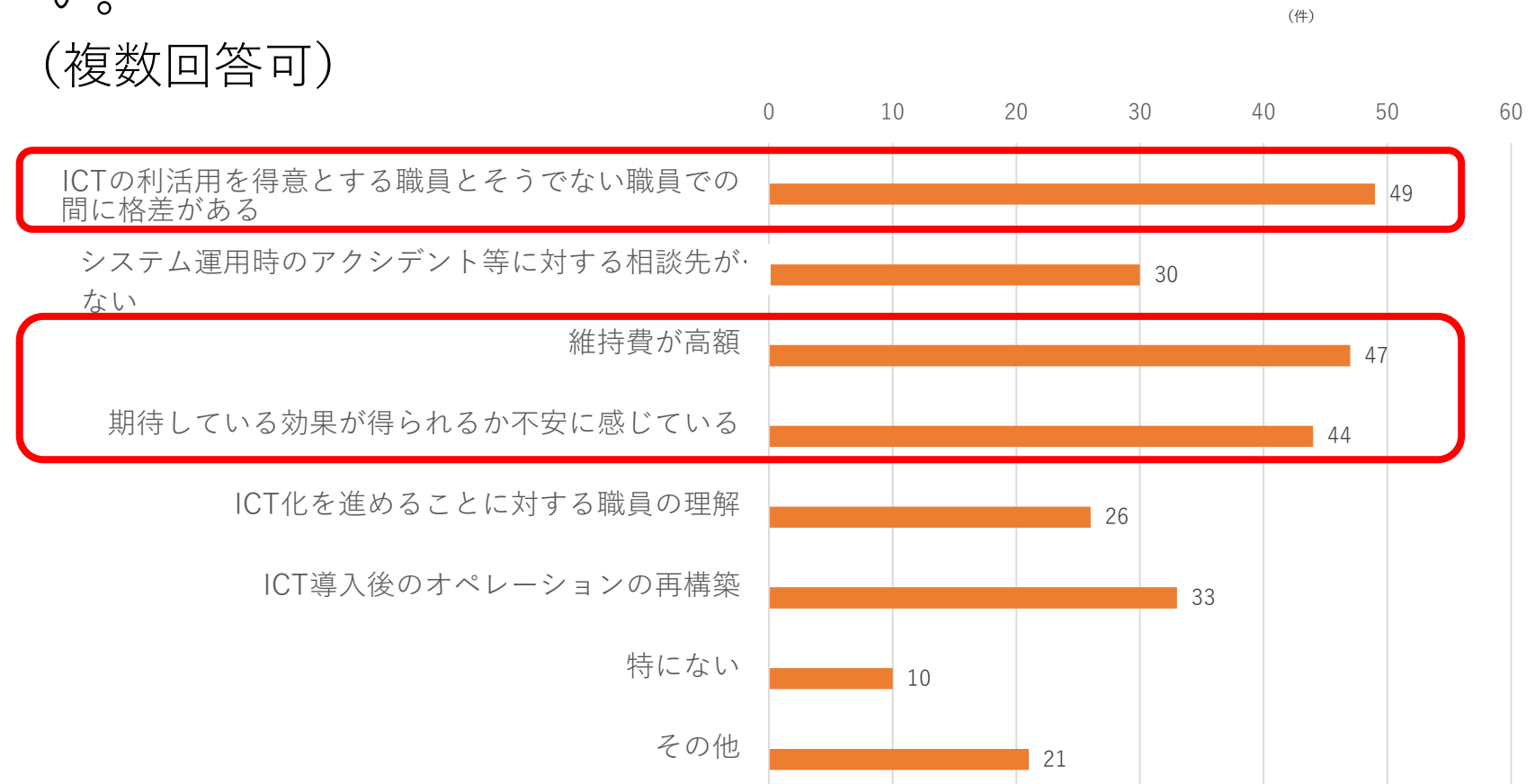
費用に見合う効果があるかわからないため



5.アンケート結果③

- ケアプランデータ連携システムの活用にあたって、最も障害だと感じている項目について、教えてください。

(複数回答可)



5.事業者向け説明会の実施

◆日時：令和6年10月7日（金）午後

※第1部・第2部に分け、同内容を実施

◆場所：アトスポットまつど（JR松戸駅徒歩5分）

◆参加者数：75事業所 110名

◆内容：

- ①厚生労働省様 ご講演
- ②国民健康保険中央会様 システム説明
- ③千葉県介護業務効率アップセンター様 センターのご紹介
- ④ケアプランデータ連携システム導入支援補助金のご案内
- ⑤ケアプランデータ連携システムのデモ体験
- ⑥介護ソフトベンダーブース設置

5.事業者向け説明会の実施②

当日の様子



6. ケアプランデータ連携システム ライセンス料補助金の実施

◆申請期間：

令和6年10月18日から令和7年2月14日

◆対象経費：

令和6年度に利用開始(更新)した、ケアプランデータ連携システムのライセンス料 21,000円

◆実績件数：61件

※千葉県ケアプランデータ連携による活用促進
モデル地域づくり事業費補助金を活用（補助率10/10）

7.普及に向けた取り組み

◆松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会との連携

研修会での周知やメール配信等でご協力いただいた。

◆松戸市介護サービス事業者連合会への呼びかけ

◆ケアプーカード～まつどver～の作成

導入した事業所が未導入の事業所に書類を送付する際などに添付して活用



7.普及に向けた取り組み

◆先駆けて導入された事業所の事例紹介

好事例として、導入にあたっての工夫や取り入れたご感想を周知

システムのご利用を始めた際、
どのような印象をお持ちになりましたか？

「すごい！」と感動しました。もっと早く国が動けばよかったのと思いました。

システム導入の際や、システムを初めて利用する際、
操作方法でわかりづらかったことや、難しかったことはあり
ましたか？

導入時、証明などよくわからないことが多く、ヘルプデスクを活用し、何度か電話での問い合わせをしました。丁寧に対応してくれました。



事例紹介（一部抜粋）

8.市内事業所より寄せられたお声

- ・システムは経費・時間の削減になる。
- ・補助が導入のきっかけになった。
- ・（サービス事業所より）居宅介護支援事業所から要望があれば導入する。
- ・システムの内容がいまだによくわかっていない。
- ・システムの普及率が低いので、全体の1%ほどしかシステムを活用できていないため、効果を感じられていない。
- ・居宅介護支援事業所は便利なのかもしれないが、サービス事業所としては使いづらいと感じる。

今後アンケートを実施して、
より詳細に事業所からの声を吸い上げていく予定。

9.市内のシステム普及状況

◆導入事業者数

令和5年7月時点：9事業所

令和7年2月14日時点：61事業所

うち、居宅介護支援事業所36事業所

※介護予防支援含む。他サービスも併せて実施している場合も含む

◆市内全事業者数：約690事業所（事業者番号の重複除く）

◆普及率 約1.3% ⇒ 約8.8%

（居宅介護支援事業所（介護予防支援含む）のみの普及率 約23.7%）

【参考】業務効率に関する意識の高まり

千葉県介護業務効率アップセンター実績（R6.11末時点）

研修参加：8事業所（県内で2番目に多い）

伴走支援参加：3事業所（県内で最も多い）

10.まとめ

- ◆今回の事業を通して、
ケアプランデータ連携システムを導入することで、業務の効率化につながった事業所が一定数存在。
また、日々の業務の見直しにもつながった。
- ◆一方、効果を高めるためには、システムの普及啓発や、好事例の周知を引き続き行い、導入事業所を増やしていく必要がある。
- ◆居宅介護支援事業所の導入率が高いことから、
居宅介護支援事業所より、サービス事業所へ呼びかけていただくことが有効ではないかと考える。